

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣を定着させるため、心の通った生活指導の充実に努めます。 ○誰もが意欲を持って取り組み、基礎・基本の定着を図るため、楽しく分かりやすい学習指導の充実に努めます。 ○実践を通して、「誰もが」「安心して」「豊かに」生活できる学校づくりを目指します。 ○生徒会を中心に、生徒が様々な活動に主体的に取り組む学校づくりを目指します。

(2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<p>確かな学力 授業力の向上</p> <p>担当 学習指導部</p>	<p>学習指導法等の工夫改善のため、教員相互で授業を公開し、授業力の向上に努める。授業参観などを通じ、保護者や地域の方々による授業評価を行う。</p>	<p>①教員相互による授業公開、その後の研究討議を継続して行う中で、生徒の基礎・基本の一層の充実に努める手だてを考え実践する。②評価に関する研修を実施し、評価方法等に関する研鑽を深める。③特別に支援が必要な生徒の学習の場を設け、学習に対する意欲を向上させる。④授業参観を通して、保護者・地域の方々による授業評価を実施する。</p>

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

【現高1】

【現中3】

【現中2】

(1) 学力の概要と要因の分析

現3年生においては、平成27年度に比べ、全体的に生活意識の高まりと共に、学習意識のポイントが向上してきていることが読み取れる。今年度の学力向上につながることを期待される。

現2年生においては、社会科の学習意欲のポイントが高く、学力も他教科に比べ高いポイントとなっている。

(2) 教科学習の状況

- 国語科…話す能力・聞く能力に関しては、どの学年も横浜市の平均に近い学力であるが、現3年生は書く能力、現2年生は言語に関する知識の定着に課題がある。
- 社会科…現3年生は、知識の定着に課題があるが、表現する能力には優れており、市の平均を上回っている。現2年生は、知識の定着、表現する能力ともに市の平均を上回っている。
- 数学科…現3年生は、知識の定着に課題がある。現2年生は、数学的見方や考え方が市の平均を上回っている。
- 理科…現3年生は、知識の定着において市の平均を上回っている一方、科学的な思考、表現に課題がある。
- 外国語科…どちらの学年も、読むことの観点が市の平均とほぼ同じである。

上段は現高1(緑学年)の3年、2年時のデータ
 中段は現3年生(赤学年)の1年、2年時のデータ
 下段は現2年生(青学年)の1年時のデータ

3 平成29年度 学年・教科等としての具体的取組

国語

- 漢字・語句の意味など基礎基本を反復して学習し、確実に定着できるようにすると共に、書く機会を増やし、自分の考えを表現する力をつける。
- 実生活での活用を目的とした、スピーチやディベートなど言語活動の充実をはかる。

社会

- 資料の読み取りに関する演習を繰り返し行い、正確に資料を読み取る力をつけることを目指す。
- 生徒各々の考えを表現する場面を多くとり、社会の分析や多面性を知る機会をつくり、社会に関し興味を持たせる。

数学

- 单元ごとに問題演習をおこない、学習状況を把握し、手立ての工夫や補習等を計画する。
- 発言する場面を多く、説明する力を育成する学習を行うなど、言語活動を重視した授業の展開を心掛ける。

理科

- 観察・実験等の体験を伴った学習を多く取り入れ、自然事象に対する興味を高める。
- 観察・実験後にレポートを作成して考察を深めることによって、思考力や表現力を養う。

音楽

- 補足的なプリントやDVDなどを活用し、視覚的にも理解しやすい授業の展開を計画する。
- 具体的な手本を見せたり聞かせたりし、実際に体験・体感させる指導を心掛ける。

美術

- 作品制作を通じて、さまざまな技法を学び、美術の発想構想・技能の力を伸ばせるよう指導する。
- 美術の歴史・文化に触れ、美術作品への知識理解を深め、豊かな感性が身につくよう心がける。

技術・家庭

- 生活体験や興味・関心を把握し、生徒の資質・能力をふまえた題材を設定する。
- 実践的・体験的活動の充実を図る中で、生徒自らが生きる力をつけるような題材を設定する。

外国語

- 生徒にとって身近な英語の歌を、授業で取り入れたり、新出文法事項の導入を工夫する等、生徒の英語学習に対する意欲を向上させる授業展開を心がける。
- スピーチやスキット等の言語活動を積極的に授業に取り入れる。

特別活動

- 特別活動の時間を通して、お互いの絆を深め、仲間のために行動する力が身につくよう心がける。
- 学校の中に留まらず、奉仕活動など外部へ活動の幅を広げ、地域に貢献できる生徒を育てる。

総合的な学習の時間

- 学習を通して、自己の生き方を見つけ、地域・社会に貢献する行動を考え、実践する力を身につけることをめざす。
- 校外学習で学んだことを生かし、多くの人と協働することで、幅広い見方・考え方が身につくよう心がける。

個別支援学級

- 学校生活全般の中で言語に関する能力の育成を図る。
- 個別の指導計画に基づき、授業形態や学習集団の構成を工夫し、生徒の能力を高めることができるようにする。